

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

**エントリー学校名：**

兵庫県明石市立錦城中学校

**活動名：**

幼・小・中で SDG s 推進  
 校区パートナーシップでリサイクル

**解決すべき課題：**

近年、持続可能な社会の実現を理念とした SDG s 推進の流れが急速に広がり、学校現場においてもどのように SDG s の概念を取り入れていくかが課題となっている。また、本校が所属する「錦城校区」は、幼稚園、小学校、中学校が各1校ずつという市内一小さな校区であり、災害発生時などに備え、日頃から学校園の連携を密に取っておくことが望まれる。

**目標・方針：**

SDG s の目標の一つにある「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の考え方をもとに、幼小中3校園の連携強化に加え、行政、家庭、地域を巻き込んだ「錦城校区パートナーシップ」を形成して目標達成にあたることを全体のビジョンとした(図1)。そのために(1)生徒主導でビジョンを策定し、(2)SDG s の考え方を周知した上で、(3)3校園・行政・家庭・地域が協力して活動することとした。

**活動内容：**

まず、SDG s の考え方をもとに何ができるのかを考え(図2)、教育現場と関連が深いものを「ピックアップ目標」とした(図3)。その過程で、明石市の SDG s 推進室を訪問し、明石市の現状について知るとともに、活動への助言を得た(図4)。

SDG s の考え方を周知するため、全校集会で SDG s を取りあげた(図5)。また、リサイクル活動日には生徒会執行部が SDG s バッチを着用した(図6)。生徒会通信や児童会通信でリサイクル活動の状況や SDG s について取り上げたり(図7, 8) SDG s 掲示板を作成したりした(図9)。リサイクルの状況については数値やグラフでわかりやすく提示することで、関心をもてるよう配慮した(図10)。

3校園で協力するために、教師は校区ユニット会議、生徒会、児童会は合同会議を行った(図11)。SDG s 推進室に中学校へ来校いただき、協力して啓発活動に取り組んだ(図12)。また、地域コミュニティセンター、小学校、幼稚園と協力して活動し(図13, 14, 15)、リサイクル活動日に3校園が一斉に掲げられるのぼりや校内向けの日めくりカレンダーを制作し、啓発に努めた(図16, 17)。

**活動の成果：**

- 3校園、行政、地域と協力して活動することができた。
- 校内でのリサイクル活動への協力人数は増加し、リサイクル活動への意識向上が見られた(図10)。
- 明石市の広報が取材に来るなど、新しい試みとしての反響があった。

**アピールポイント(アイデアや工夫)：**

- 3校園、行政、地域が協力して活動する基礎ができたこと
- 生徒会が主体となりリサイクル活動を SDG s と結び付けて自主的に活動できたこと
- 負担が大きく、短期間しかできない実践ではなく、継続して実践できる持続可能な取り組みとなったこと

(1) SDG s をもとにしたビジョンの策定

図1 全体ビジョン 図2 中学校生徒会 図3ピックアップ目標 (執行部策定) 図4 明石市政策局 SDG s 推進室訪問



(2) SDG s の考え方の周知

図5 全校集会資料 図6 SDG s バッチを着用してのリサイクル活動の様子 図7 中学校生徒会通信



図8 小学校児童会通信 図9 SDG s 掲示板の作成 図10 数値での報告資料(全校集会)



(3) 3校園・行政・家庭・地域の協力

図11 中学校生徒会・小学校児童会合同会議 リサイクル状況の報告 SDG s 推進室より来校 センターへ協力依頼



図14 小学校と協力 図15 幼稚園と協力 図16 3校園でのぼり制作 図17 日めくり

